

# ふくい女性ネット REPORT

## 元気の種をひろげよう！

ふくい女性ネットが発足して1年。例会を重ねるごとに業種を超えた交流を深め、お互いに元気の種をもらってきました。  
新しいメンバーを迎え、ふくい女性ネットの元気の種を福井の全ての女性にひろげていきたいと思えます。

INDEX

勝間和代さん講演会  
新道繊維工業(株)見学会  
J-Win 参加レポート  
ふくい女性ネット(1期)に参加して

### キャリア・アカデミー公開講座

日時：平成21年2月21日(土) 13:30～15:00

場所：ユー・アイふくい

### 経済評論家 勝間和代さん 講演会 「ビジネスで成功する! 7つのフレームワーク」

#### 《講演内容から》

キャリア・アカデミー公開講座として開催された、勝間和代氏の講演会。当初の定員200名を遥かに超える700名が集まり、さらにキャンセル待ちが100名! 福井で開催、更に受講料無料とあれば当然のことだったのかも知れません。

3人のお嬢さんを育てながらフルタイムで働き続け、現在では経済評論家・公認会計士として活躍。我々のスーパーロールモデルです。

これこそが完璧なプレゼンなんだろうなと思わせる話し方、立ち位置、内容。かといって、人間味が無いというとはまた違った魅力ある話しぶりに会場に居合わせた多くの人引き込まれていったのではないのでしょうか。

講演の本題「フレームワーク」は簡単に言えば考え方のレシピ。料理を作るのにレシピが必要なように、ビジネスの上でも「フレームワーク」があることによって効率的に進めることができるということ。本を読んでなんとなく理解していたことも講演を聞いているとスルスルと頭に入ってくるように思われました。詳しくは書ききれませんので『勝間和代のビジネス頭を創る7つのフレームワーク力 ビジネス思考法の基本と実践』をご覧ください。

『皆さんの幸せの総量は私の幸せの総量』『知識や人脈は減らない』『Giveの5乗(無理の無い範囲で、相手が居心地悪いくらいいいことをしてあげること)』『三毒追放(ねたまない、怒らない、ぐちらない)』の言葉に代表されるように、小さなことを積み重ね、



運を実力に変えていらっしゃいます。

講演の最後に私達が明日から出来ることを紹介していただきました。昨日の自分より 0.2%改善することによって、翌日は 100.2%、次の日には 100.4004%、1年後には 200%改善できる計算になります。この講演での感動を忘れないうちに実行に移すか、移さないか。それが一番大事なのかもしれません。(平馬)

一人一人が明日からできること

1. Not To Do List を作る
2. 依存薬物を減らす (酒・タバコ・チョコレート…)
3. テレビやネットを見る時間を減らし、本を読む量を増やしてみる
4. Give の 5 乗を実行してみる
5. 「無意識」の存在をもっと意識する



### 《ふくい女性ネット&キャリアアカデミー受講生と勝間和代さんとの交流会》

講演会は会場あふれんばかりの大盛況、著書は何十万部という売れ行き、そんな有名な方を目の前に、参加者は大変緊張していました。初めは様子を窺いながら質問していましたが、時間が経つにつれ、この機会を逃すまいと次々に手が挙がるようになりました。



Q. 仕事と育児を行ううえで、今まで壁にあたったことは？

A. もちろんありますよ。その時は子供のため(授業参観や風邪など…)に仕事をどれだけ休んだことがあるかを計算しました。そうしたら子供のための時間が約10%占めてたんです。でも計算したことによって“10%なんだ!”と思うのが楽になりましたね。10%ということはその他の日に少し残業して頑張ればよいことですしね。

Q. どのようにピンチや失敗などを解決してきましたか？

A. 失敗はたくさんしてきましたが、プロセスが正しければいいと思っています。どの過程が悪かったのかを考え、失敗から学んでいこうとしています。失敗は必ずするものですから落ち込まずに、計算の想定内のことであれば改善していくことが大切ですね。



Q. 自分みがきに余念がないようですが、忙しい中でも時間を見つけて続けていく秘訣とは？

A. 自分をやらざるをえない環境におくことです。

Q. ブログをされていますが、ブログの存在とは？

A. メモですね。すぐ忘れてしまうので…。



Q. “三毒追放”をやり続ける自信がないのですが…やっていきますか？

A. やはり続けていくことが大切です。続けていくとそのほうが楽なことに気づきます。ねたみて疲れますしね。私は努力って時間に換算されると思うんです。その人が時間をかけて努力してきたことを見ずにねたんだってダメです。(岸本)



三毒とは…仏教で体にも心にも悪いこととして戒められていること  
・ねたまない・怒らない・ぐちらない 三毒を追放すると、ポジティブシンキングと問題解決の習慣がつくとされています。

## 「新道繊維工業株式会社」見学会 平成21年1月23日（金）

### ▶▶会社概要◀◀

本社 〒919-0614 あわら市伊井 11-1-1

URL <http://www.shindo.com>

**事業概要** 創業以来、細幅繊維製品を中心とした服飾繊維資材の企画・製造・販売を一貫して行い、国内はもとより中国に生産拠点として独資の工場を持ち、香港・上海・パリ・ドイツ・ニューヨーク・ロサンゼルスには営業拠点を設けることでスピード・品質・価格の要求を満たし、グローバルに販路を展開。また最近では、産業資材分野への進出も開始し、以前から行っているシリコン事業も合わせて3つの分野に力を注いでいる。



企業見学も3社目となりました。今回は私たちふくい女性ネットの加藤晶子会長がおられる、新道繊維工業株式会社を訪問しました。企業見学になると出席率が高くなる女性ネットですが、今回は14名が参加しました。本社工場は、あわら市の工業団地に位置し、会社全体を占める女性の割合は、5割とのことでした。

玄関を入ると、正面の彩り豊かなリボンのディスプレイが目飛び込んできました。素敵な装飾に、まず強い印象を受けました。社内を案内していただく間、まず階段、そして部屋に向かう途中、業務中の方が全員手をとめて挨拶して下さいます。なんと社員へのマナー教育が行き届いているのだらうとメンバー全員が感心させられました。



長谷部 常務

その後、長谷部常務様をご挨拶に続き、スライドを使って会社概要と製品の使用事例を紹介していただきました。繊維という衣料品の生地を想像しがちですが、繊維事業はもちろん、主力となるのは、産業資材事業とシリコン事業。細幅ものに特化されておられ、例えばジャージの襟や袖口などに部分的に使用されており、付加価値が出るものに力を入れているということがわかりました。またパリコレ等にも登場しておられるそうで、ファッションの最先端から私たちの身近なところまで、新道繊維工業(株)の製品とは知らずに身に付けていたということに気づかされました。

説明を聞いてから本社工場やショールームを見学し、ショールームにはスポーツウェアやドレスなど数多くの製品が展示して



あり、その種類の多さ(カラフルな様子)に黄色い声をあげていました。見学の後には、リーダーとしてご活躍中の女性社員の方3名を交え、意見交換を行いました。会社に入った時に受けた印象と同じく、みなさん向上心にあふれ仕事に対してとても真剣かつ真面目な方々でした。特に仕事面では、細かいところまで気配りを忘れないといった女性ならではの特性を十分に活かし業務を担当されていることが十分伝わってきました。「企業は人なり」とよく言われますが、そのことを納得させられた企業見学でした。私自身も様々なヒントをもらい、とても勉強になりました。(藤田)



3人のリーダーの方左から 笠松さん、八木さん、中島さん

# J-Win 参加レポート

## NPO法人J-Winとは?

企業で活躍する女性幹部、および幹部候補生の相互交流と自己研鑽などを目的として設立されたNPO法人です。女性のネットワークづくりの他、企業や国への提言・調査研究なども行っています。

第2回 J-Win/Catalyst Joint Seminar  
カタリストに学ぶ ～企業変革とダイバーシティ  
2009年2月5日(木) 大阪会場:大阪国際交流センター  
ふくい女性ネットメンバー5名参加

## 『ダイバーシティの推進:ゼロか1か、それは大きな違いだ』

ダイバーシティ……一人ひとりを持つ様々な違い(性別・国籍・年齢・学歴や職歴等)を受け入れ、それぞれを価値として活かすことで企業の競争力に活かそうという考え方

英語の講演もあるということで、気圧されながら資料に目を通す。まず驚いたのは、ダイバーシティ推進の事例を発表される企業が、"ダイバーシティブックレット"や"ダイバーシティハンドブック"なる物を発行していることだ。オールカラー、15ページほどの、就職活動でもらう会社のパンフレットのような冊子だ。こんなの自分が所属する会社では発行していないし、そもそも発行元となるダイバーシティ推進室すらない。

事例発表された2企業の方は、どちらも自身の企業の推進度を、恐縮しながら話されていた。しかし、カタリストからのアドバイスは優しく、けれども力強く彼女達を励ますもので、そのメッセージには胸が熱くなった。「成果が少なくても、それでいい。初めなのだから。」



J-Win 理事長 内永さんの講演



Dr.Meryle Mahrer Kaplan

「始めたのだから、それでいい。始めればその道に乗ったということだ。」

限りなくゼロに近い立場から見ると、全くその通りだ。ゼロを1にすることが、どれほど労力を要することか。

内永ゆか子氏は、ダイバーシティを受け入れることは、企業のためである、と断言された。企業の生き残りのためにはイノベーションが重要で、イノベーションを生むにはイノベーションを生みやすい環境が生まれ、その鍵を握っているのがダイバーシティということであった。ダイバーシティも、そうでない人も、気持ちよく仕事のできる企業になるためには、間違いなく企業内の改革が必要となるはずである。

事例を見てみると、現状への気付きが必要で、トップの決断が必要で、対策に充てるヒト・モノ・カネが必要で、実態調査が必要で、そこから自社の問題を探し当てる分析力が必要で、対策を打ち出す計画力が必要で、それを実行する熱意と行動力が必要で、社内の理解も必要で、粘り強い継続力も必要で、…と、必要なものだらけである。

そして思うのである。この問題を解決へと導く基盤のない企業が、どうしてビジネス上の問題をクリアして、発展していけるだろう?? いわんや、生き残りすら困難をや。

辿り着いた結論は、内永氏と似てくる。つまり、変革を生む風土なくしては生き残れそうもない、ということである。

この激動の時代、リスクを知らないことがリスクであるし、リスクを分かっている何もしないのは、全くナンセンスだ。人材競争というリスクに対して自らの変革を起こさないのは、自分は逃げ切れると思っているからだろうか。しかし、そこには何の保証もない。

あなたの つくった or 選んだ or 選ぼうとしている 企業は、女性というリトマス試験紙に晒したとき、どんな色に変わるだろうか。もしそれが青変するなら、まず臆より始めよ、ということなのかもしれない。(澤)

今回このセミナーに参加させていただき、素直に自分自身に、今なにか足りないか、どうしたいか考えきつかけとなりました。ダイバーシティ推進という、難しい内容でしたが、一つひとつは今、自分がどうしたいか、どうなりたいかを考えなおすよききっかけを与えていただいた、また考えをうまく整理してもらった様に思います。今の自分の生活や仕事の内容に満足している自分がいて、日々自分のなかでは頑張っているつもりですが、それでは世界が急速に変化している中で、後退こそしても進歩はなく自分が取り残されていることに気づきました。



ダイバーシティ事例報告



緊張気味のメンバー

このままでは、大きな変化に対応できない自分は企業にとっても、他の女性方にもマイナスであること、そして私自身がそれには満足できないこと。男性が女性かという、枠をこえて、お互いの共有部分を見つけ情報を共有することの大切さと、自分自身がどうなりたいか、どうしていきたいかを、しっかりと考えそのためになにをするのか具体的に行動にうつすことが重要だとわかりました。また、他の企業には情熱をもって頑張っている方が、たくさんいること、職場でこもっているだけでは変化に対応できず、よいアイデアやコンセプトがでてこないこと、つまり、今の自分は越えられない、会社にも貢献できなくなるということにも気づきました。今回参加のきっかけを作ってくれた、上司の好意に心より感謝します。ありがとうございました。(塩田)

## J-Win 拡大会議

2009年3月4日(水)

### ふくい女性ネットメンバー5名参加

- ・ネットワーク報告(7つの分科会)
- ①次世代 キャリア教育支援 ②次世代 女性・後輩
- ③女性自身の意識 ④男性の意識研究 ⑤企業人事への提言
- ⑥企業経営への提言 ⑦国・社会への提言
- ・講演(株)ベネッセコーポレーション  
代表取締役会長兼 CEO 福永総一郎氏
- ・「2009J-Win アワード」発表と表彰



内永さんのあいさつ

500人近い参加者の中、J-Win 理事長内永ゆか子氏の爽やかな挨拶に始まり、J-Winの活動報告、一期生260人のいろいろな角度から収集した情報を元に見事に展開されていく分科会毎の活動報告、ベネッセコーポレーションの福武会長のご講演。J-Win アワードの表彰式。第二部は懇親会と拡大ネットワークング…と盛りたくさんの内容で、最後はJ-Win 幹事長の鈴木あやさんによる「Women to the Top!」の力強い頑張ろうコールを最後に締めくくった拡大会議は、まさに女性のエネルギーの結集!パワーをたくさんいただきました。

私が参加して一番印象に残った事は、③分科会(女性自身の意識)報告中の「言葉のちから」という部分です。女性が一歩踏み出す為に足りないもの……として取り上げられていました。

女性自身、女性同士、又は上司との関係、後輩との関係のなかにも、見えない壁、孤独感……というものがある場面においても多少なりともあります。これは全て「言葉のちから」で解決する事ができるという事がわかりました。

そうです!あたりまえの事…対話(助言)なのです。自分がどの立場にいても相手に声を掛ける(励ます!誉める。お礼を言う。相談する…)そんな些細なひと言が相手(自分)の大きな一歩を踏み出すきっかけとなるのです。

他にもたくさん気づきをもらい大変勉強になりました。この会議に参加でき、本当によかったと思います。(石森利)



緊張気味のメンバー



内永さんを囲んで

私は、7つの分科会による活動報告の中で、特に②と⑦に興味を持った。

②分科会(次世代・女性・後輩)の発表者から、「後輩と会話をしていますか?」と問いかけられたときに、まだまだ後輩たちとコミュニケーションがとれていないなど反省した。後輩たちは会社にロールモデルがいなくて悩んでいるのではないだろうか。だとしたら、私たち女性ネットのメンバーがロールモデルになれないだろうか。誰でもロールモデルになれるのだから、私たちが出会ったさまざまな人たちの良いところを吸収し、後輩たちがキャリアプランを描けるよう応援していきたい。

⑦分科会(国・社会への提言)では、J-Win会員企業の女性社員を対象に行った『働く女性の WORK&LIFE調査』結果について報告があった。3,951人の働く女性の生の声が集まったとても興味深い内容だ。中でも「女性が子どもを産めない・産まない本当の理由」に対する女性たちの回答は、一般的に考えられる「保育所等のサポート不足」や「職場の理解が得られない」よりも、1位が「キャリアロスが不安・仕事優先」で20代の女性に多く、2位の「不妊」は30代の女性に多いということが意外でした。また、「育児との両立により変化したこと」との問いには、「効率的な働き方ができるようになった」(70%)「視野が広がった」(56%)など、プラスの影響をあげる人が圧倒的に多かったことが意外でもあり、うれしい結果だと感じた。

働く女性の生の声を届けることができるJ-Winならではの活動を引き続き国や企業など各方面に働きかけを行っていくという力強い報告でした。

それでは、私たちふくい女性ネットにできることは何か…

福井県の働く女性が益々活躍するために、J-Winをお手本に、もっと具体的に課題を絞って活動を続けていったらどうだろうか。それは、2期のメンバーに託したい。(斉藤)



11/28「女性が活躍できる職場づくりフォーラム」に来ていただいた三浦さんと交流



11/28「女性が活躍できる職場づくりフォーラム」に来ていただいた青沼さんと交流



会場入口にて出席メンバー

# ふくい女性ネット (第1期)に参加して

活動から1年3ヶ月を振り返りメンバーの思っていることをまとめました。

- ① ふくい女性ネットに参加してよかったこと
- ② ふくい女性ネットで得たことを、会社や社会にどのように還元していきたいか。



新道繊維工業株式会社  
執行役員工場長  
加藤 晶子

## 《会長》

① 福井県は共働き率全国1位、女性就業率全国1位と多くの女性が働き、活躍している中、管理職の割合は全国最下位となっています。ここに企業における女性の活躍促進を目的にこのネットを立上げて頂いたことに深く感謝しております。メンバーをお引き受けした時は何をするのか、何をしたらいいのか全然分からず手探り状態でスタートしました。ネットでは自己研鑽、交流、情報発信と3部門を設置、自分たちの企画・運営で交流会、勉強会、講演会、情報誌の発行、また、他県での講演・交流会参加など数多く実施してきました。最初の不安からいまではメンバーからやれば出来る、限られた時間で頑張っただけで達成感のある声が聞こえてきます。是非、この達成感を味わってください。支援企業のトップの方からも励ましや、今後の活躍に期待する声も多く頂いています。仕事場と家庭の往復に成りがちな私は自己啓発のために参加、そして多くの勉強と経験から視野の広がりを感じ、働く姿勢・考え方など多くを学びました。これからも一人でも多くの女性に参加していただき自分の能力への気づき、スキルアップにと女性が生き生きと活躍できる職場作りに役だてて頂きたいと思っております。

② 第一に会社内での第2期・3期メンバーの継続参加促進を図ること。そして私達第1期生の任期は終了しますが、何か形は違っても定期的な情報交換や勉強会を行う事でネットワークの活動を継続していきたいと考えています。このネットでの出会いをこれからも大切にしたいと思います。



(株)イーアンドエス  
経営管理推進事業本部長  
石森 則子

## 《副会長》

① まずはじめに、働く女性のネットワーク『ふくい女性ネット』の会を立ち上げてくださった県に対し、またこの会に参加の場を与えていただいた会社に対しても感謝しています。

立ち上げた年の参加ということで、自分達で作りあげていかなくてはいけないという未知への不安と新たに作り上げることができるというワクワク感が相互に交差しながら1つ1つ進み自分自身成長させていただいたと思います。第1期は、1年3ヶ月と短い期間ではありましたが、いっしょに参加したメンバーの方々、また講演会での講師の方々との身近な交流ができたことで、自分自身参考にできるロールモデルの方たちと話ができて、今後の自分自身の人生を送っていく中で大きなプラスになりました。また、企業訪問では、企業内容の説明や働いている方達と交流がもてたことで多くの知識と気づきももらいました。

ここで得たネットワークをこの任期終了とともに終わるのではなく、新たに第2ステージに上るための行動を起こし、自分自身更なるレベルアップをし、会社及び社会に対し貢献していきたいと思っています。

② この会で知り得た情報、知識を社員はもちろん、他の女性の方たちに伝えていくことで、情報の共有化を図り、お互いに自分の持っている能力を充分仕事に発揮できるように導く手助けができたと思っています。また、この会の2期、3期と新しく入られるメンバーの方達の良きアドバイザーとなり、ますますこの『ふくい女性ネット』が発展していけるよう微力ながら協力していけたらと思います。



(株) 福井新聞社  
市岡 美由紀

①会社での業務だけでは出会えなかったメンバー達との交流。経験豊富なメンバーからよい刺激を受け、様々なプレッシャーを与えられ、それを乗り越えるために何事にも前向きにさせてくれたこと。  
②まだ、会社や社会に還元するまでに至らず、経験、知識も不足していると実感しています。「ふくい女性ネット」も発足まだ1年で模索中。共に、もう少し勉強させていただきたいと思っています。

①いろいろな業種の方と話をすることで、仕事での悩みや問題点が共通している事がわかり、他の会社の方のやり方やアドバイスを多く聞く事ができたこと。また自分の会社の事を客観的に見る事が出来るようになり、自分の会社の良さも見えるようになったこと。それから、最も自分の苦手な部分を鍛えるための勉強の場になりました。  
②前に進むためには、何をしなければならぬか？それはみずから気づく事・勉強する事・トライ(挑戦)すること。女性ネットで学んだことを後輩達にも伝え、これからも仕事や色々なことに前向きに挑戦していきたいと思っています。



株式会社 エイチアンドエフ  
石森 利栄

①地元福井で、いろいろな職種の女性たちと出会えた事、そして、前向きな考え方の人が多く、会うたびにパワーを頂いたことが一番良かったです。  
②この私を女性ネットに参加させて下さった会社に感謝して、女性だから…と一歩下がるのではなく、会社の為に1歩も2歩も前へ出ていこうと思います。



トヨタカラー福井(株)  
上田 裕美



福井商工会議所  
岡田 智絵

①福井県内にお勤めのキャリアウーマンの方とのネットワークをもてたこと。また女性ネットを通じて、県外の意識の高い活躍する方の貴重な講演を聞くことが出来たこと。  
②1人でも多くの働く女性が、生き生きと働ける職場環境になるようにネットワークを通じて努めていきたい。



第一織物(株)  
大岩 延代

①女性は男性に比べて異業種・異職種の方と交流する機会が本当に少ないと思いますので、大変貴重な体験だったと思います。  
②<地球温暖化>に関する勉強会がとても良かったです。率先してエコを実践して、会社や周りの人達の意識を少しでも変えていけたらと思います。

①自分自身がプラスになるいろんな出会い♥があったこと。  
②私は決して成功した女性ではないけれど、自分自身の経験を通して、未婚・既婚を問わず、仕事と家庭(私生活)のバランスがうまくとれず悩んでいる女性の相談にのってあげたいと思っています。そして、マイナスな考えから、少しでもプラスにもってあげたいと思います。と同時に、私自身も、さらに視野をひろげ、研いでいきたいです。2期活動では、企業のダイバーシティについてのセミナー等を企画してはどうかと思います。



益茂証券(株)  
斉藤 美香

①福井の各企業で活躍されている、女性管理職の方々と知り合えたことや、勝間和代さんをはじめ普段はお会いできないような方と交流できたことです。メンバーさんも前向きな方ばかりなので、いつも元気をもらっていました。  
②後輩や友人がこれから女性のリーダーとして成長できるよう、アドバイスができるようにがんばりたいです。



福井県商工会連合会  
北川 佐和子



日本海産業(株)  
岸本 菜緒美

①たくさんの女性が企業で活躍していることを実感できたことが一番良かったです。また、活躍する女性と直接話が出来たり、勉強会を行ったり、自己研鑽の場となりました。  
②得た情報や他企業の取組みをアウトプットし、女性の働きやすい環境に改善していきたいです。また講座やセミナーなどの情報を伝えるなどをして、女性の自己研鑽や働く意欲向上につなげていければと思います。

①井の中の蛙、様々な出逢いで大海を知りました。いろいろな分野で頑張っている女性の方と出逢え、交流が出来、勉強になった1年でした。  
②「女性ネット」の取組みや「働く女性の活躍」を多くの人に伝え、福井の女性の「元気で勇気」になればと思います。



福井県民生協  
小林 文

- ①ふくい女性ネットに参加してよかったこと
- ②ふくい女性ネットで得たことを、会社や社会にどのように還元していきたいか。

①・業種、役職、年齢などのバックグラウンドが異なった、他社で活躍されている女性に出会えたこと。

・その方たちと何度も共通の目標(交流会盛り上げるぞー!など)に向かい、お互いの能力を出し合って実現できたこと。

・その方たちと悩みや問題に対する意見を、気軽に、率直に共有する時間ももてたこと。

②・活動の意義や必要性を理解させ(←ここからやらずにはならないのが現状)、応援してもらうために、社会のリーダー達が唱えるそれらを自分のものにし、伝道する方法を確立したい。

・女性ネットに参加していない女性および男性(そちらの方が多いのだから)に、我々と近い体験してもらえそうな場を提供したい。



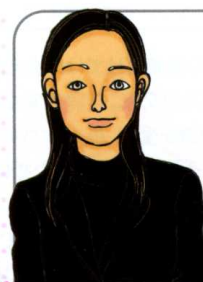
三谷商事株式会社  
澤 彩映子

①他の業界の方と仕事抜きでお話する機会を持つことができ、様々な生の情報に接することができたこと。

②女性を含めて若い職員が、肩肘張らず自然体で、且つ決意と勇気を持って一歩前へ踏み出すきっかけとしていきたい。



福井市  
橋本 亜由美



株福井コミュニティー  
スポーツセンター  
塩田 恵子

①Fネットの例会やセミナーに参加して、今の自分に何が足りないのか“気づき”のきっかけをいただき、素直にもっとステップアップしたいと思えたこと。それは、メンバーがそれぞれとても頑張っていて、素敵で、私に勇気と目標を持たせていただきました。

②今の自分に満足するのではなく、仕事人として女性としてもっとステップアップして、身近なロールモデルとして後輩や女性に勇気や元気を発信できるようになりたいです。今度は自分達が“気づき”のきっかけを与えられるよう行動していきたいです。

①他社で活躍されている人とネットワークが持てたこと。

何事にも前向きで積極的な方と知り合えて、よかったです。

②ふくい女性ネットで得られたことを、今後の後輩指導に役立てていきたいです。



福井鋳螺株  
藤田 佳恵



サカイオーベックス株  
平馬 優子

①Fネットのメンバーや講演会にお招きした講師の方々など、たくさんのロールモデルとなる人に出会えたこと。

今後は是非、私の良きメンターになっていただけるようお願いしなくてはと思っています。

②これまでは県からの働きかけの例会や行事が中心でしたが、Fネットメンバーによる自発的な行動が出来ればいいなと思っています。



住友生命保険  
相互会社  
松浦 由美

①他の企業で活躍されている方のお話を聞くことができたことが一番良かったです。

②ほとんど参加できませんでしたが、出席した時はたくさんの方に助けていただきました。出会いを大切に、助け合っていきたいと思います。

①県内のいろんな企業の女性の方々とお話できる機会がもてたこと。  
キャリアアップのためのいろいろなセミナーで、いろんな方のお話を拝聴できたこと。

②どんな女性にもキャリアをめざしてがんばっていける機会がもたされるよう、自分の経験や、ネットを通して見聞きしたことをみなさんに伝えて、少しでも活かしたいと思っています。



株式会社  
シャルマン  
松山 弥代

①会社以外の場で同じ仕事の話を出せる多くの方と交流ができたこと。

また、家庭と仕事を両立している女性の方が多くがんばっていることが自分自身の励みになったこと。

②会社や社会において男性と張り合うということではなく、女性が得意とすることを十分に活かしていきたい。

また、女性リーダーも会社として必要と思われるよう今後も努力し、後輩達のステップアップにつながるような人材になりたいと思う。



日華化学(株)  
宮本 真由美

## 第2期の活動に向けて

第1期はまず立上げということで模索しながらの活動でした。もっとメンバーが主体的に動けばよかったのではないかと、企業に還元できるような活動をするべきではなかったかなど、反省点も多くあります。第2期では、第1期の活動を基礎としてさらに積極的かつ活発な活動につなげ、私たちふくい女性ネットや女性社員の活躍を応援していただいている企業や社会に貢献していきたいと思っています。

これからも、ふくい女性ネットへのご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。